

# 小規模企業景気動向調査

[平成24年5月期調査]

～回復傾向から一転、5カ月ぶりの悪化となり、先行きは不透明な小規模企業景況～

2012年6月26日  
全国商工会連合会

## <調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2012年5月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

## <産業全体> ◇…回復傾向から一転、5カ月ぶりの悪化となり、先行きは不透明な小規模企業景況…◇

5月期の小規模企業景気動向調査では、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)は、▲29.2ptと前月に比べ3.2ptの悪化に転じた。建設業は、売上額が前月の▲6.4ptに引き続き、▲9.7pt下降と大幅に悪化し、公共事業の減少の影響が一段と顕著になりつつある。小売業、サービス業は、前月から一転して悪化となり、消費税の増税や夏期の電力需給の問題等、先行きに対する不安から消費マインドは低迷している。ヨーロッパの金融情勢、円高、大型店への購買力の流出等、懸念される問題が多く、見通しは不透明である。

## <製造業> ◇…一部で受注増加の動きはあるが、原油高騰が収益を圧迫している製造業…◇

製造業DIは▲20.7ptで、前月から0.3pt改善した。自動車関連の部品製造は、エコカー補助金の効果で全体的には好調であるが、一部では、採算が悪化したり、今後の見通しに危機感を募らせていたりしている企業もある。機械・金属関連の部品製造は、受注は増加しているが製品単価が低く、原油価格の高騰の影響もあり採算割れになっている。ヨーロッパの金融情勢を不安視する声や、円高や電力不足による、元請け企業の海外移転の加速を懸念する声も聞かれた。

## <建設業> ◇…3カ月連続の悪化となり、民間・公共事業ともに減少し、経営状態が厳しい建設業…◇

建設業DIは、▲34.4ptと前月と比べ6.4pt低下し、3カ月連続の悪化となった。依然として、民間、公共事業共に減少傾向にあり、そのため売上は減少し、また、燃料費の高騰や請負単価低下の影響で採算も悪化している。昨冬の大雪による雪害被害や、4月の強風による被害を受けた地域で、住宅を修復する工事が今月も好調であるが、従業員を解雇し始めたり、休業に踏み切った事業者があるという声もあり、先行きは厳しい。

## <小売業> ◇…持ち直し傾向から悪化に転じ、買い控え・量販店との競合激化の要因で低迷する小売業…◇

小売業DIは▲35.9ptで、前月と比べ4.0pt悪化した。食料品関連は、新規スーパーの開店や、コンビニエンスストアの相次ぐ出店で過当競争が激化している。家電関連は、昨年への地デジ化への移行による需要の反動で、テレビ関連の売上が減少した。衣料品関連では、クールビズの先行実施で好調だったところもあった。所得の減少により、全般に買い物を最小限に控える傾向があり、客一人当たりの購買価格は低下している。大型店内にある店舗も苦戦しているようだとの声もあり、業種を取巻く状況は険しい。

## <サービス業> ◇…ゴールデンウィークで一部に明るい動きはあるが、景気低迷で需要が伸び悩むサービス業…◇

サービス業DIは、▲25.8ptと前月と比べ2.6pt悪化した。宿泊関連はゴールデンウィークがあり活況で、外国人観光客が増加した地域もあった。しかし連休後は予約が激減し、工事関係の宿泊客や、企業や官庁関係の研修等の団体客が減少した事例もあった。飲食業は、自粛ムードで需要が停滞した昨年と比較して、賑やかさを取り戻したところがある一方、客単価の低下や材料費の値上がりにより採算がとれないケースがみられた。理美容業は、低価格・高付加価値への取組みにより売上が増加した例も聞かれたが、チェーン店との競合で依然として苦しい。長引く景気の低迷で需要は伸び悩み、全般的に業況は苦しい。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	4月	5月	前月比	4月	5月	前月比	4月	5月	前月比
売上額	▲21.0	▲26.2	▲5.2	▲11.3	▲14.8	▲3.5	▲20.6	▲30.3	▲9.7
採算	▲23.9	▲26.9	▲3.0	▲20.6	▲21.9	▲1.3	▲25.9	▲32.1	▲6.2
資金繰り	▲21.4	▲23.7	▲2.3	▲17.3	▲16.6	0.7	▲27.1	▲32.7	▲5.6
業況	▲26.0	▲29.2	▲3.2	▲21.0	▲20.7	0.3	▲28.0	▲34.4	▲6.4

業種	小売業			サービス業		
	4月	5月	前月比	4月	5月	前月比
売上額	▲30.4	▲34.7	▲4.3	▲21.6	▲25.0	▲3.4
採算	▲30.1	▲32.2	▲2.1	▲18.9	▲21.4	▲2.5
資金繰り	▲25.8	▲27.0	▲1.2	▲15.3	▲18.6	▲3.3
業況	▲31.9	▲35.9	▲4.0	▲23.2	▲25.8	▲2.6

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

全国商工会連合会 企業環境整備課